

日刊 發行編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

定部金貳錢 廣五號十二 休日 日曜大祭 祝日ノ翌 福島縣石城郡平町長橋町三五 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

一月八日夕刊

常識論壇

智識階級の無氣力

太田秀穂

(三)

政治と云へば要するに弱者を壓迫する責道具に止まりしものが乃ち朝鮮をして衰退せしめたる原因なるべきを信するなり、予輩は朝鮮に在官せし因縁により多少此邊の事情も研究したりしが結局はその政治が何等正義觀念なく中心の信念なく道徳なるものは弱者の守るべきものにして強者は唯之を利用して名譽金錢を得るに過ぎざりしことを知るに至

れり、印度は釋尊誕生前より學術技藝進歩し宗教倫理の如きも随分進歩し居りたるは各種の經文によりて證明し得べし然れども政治の實況に至りては單に僧侶及び武門の階級が專制したるのみにて一般民衆は空しく禽奔獸走したるに止まる近き代英國の支配下に立ちてより交通土木勸業等の進歩見るべきものありと雖も人心の統一は一向進歩せず政治の實體に至りては見るに足るべきものなしと云ふも可なり。我日本は支那印度等とは異りて割合に言擧げせず常に率直簡明を旨としたるが故に徳教の名目及び之

に關する研究は盛んならずとも徳教の實行につきては寧ろ進歩し居りたるかと考ふ、遠く神武の昔より現代に至る迄何れの時が最も善良なる政治行はれたるや判然せざれども支那の如く權力者が極端に横暴を盡せしが如き事例なきが如く武家時代に於ては武門武士は一般民衆に對し斬捨御免の特權を有したれども生殺與奪を恣にしたること多からず賄賂の如きは役得と稱して取るものもありしが支那や朝鮮の如く大多數の役人が等しく賄賂をとりたるにあらず (つづく)

森下商店

玩具 平一丁目 糸類 まめ屋

英國製ボイラ毛糸
一オンス十四錢
上オンス十六錢
一等品一オンス十八錢
特等品一オンス廿錢
米國製上等スコッチ
一オンス十二錢

加藤營業所
白銀町 電話三三三番

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院
平南町(電話一七〇番)

平の山の手の稱ある胡摩澤の高台 縣社八幡宮裏手の參千餘坪の土地をお貸しします。
◇春うらぶかに夏は新緑滴る郊外住宅、秋色たゞよい冬暖やかな郊外住宅、小供の健康によい郊外住宅
◇附近の重なる建物——八幡宮、中學校、裁判所、小學校、女學校。
◇水道電氣の取附容易
◇御希望の方は左記へ御來訪下さい

四丁目 マツモトヤ
電話二二四番
百澤商店
電話一二番

三井吳服店

平町電話三十八番

神戶海上運送保險株式會社
東洋海上火災保險株式會社
共保生命保險株式會社

貸家部案内
柳町 勤人向 八、五〇〇〇
五丁目 同 四、五〇〇〇
白銀町 同 一、四〇〇〇
内郷村小島 同 一、二〇〇〇
貨地部案内
平町舊城跡 本丸、二ノ丸
同大切町、同八幡小路、同柳町、内郷村、停車場附近
四倉町小學校附近

御贈答用大賣出し
十二月二十日より廿六日迄
特價品
一 錦紗小紋 金十五圓
一 高貴織 金六圓
一 一節系織 金五圓五十錢
一 銘仙 金五圓五十錢
御婚禮納物一式豊富取揃申候
◇木綿縞瓦斯縞
見切品反物山積
着尺モスリ
金三圓八十錢
實用絹天足袋 廿五錢
白キヤラコ 廿錢

賀壽贈答ノ御用命

特ニ勉強致シマス

月賦 御便利ノ方法ニシマス

販賣手 南部鐵瓶店
南町廿九番地

外門 關原商店

入院應需 上田外科醫院
平町 南町 電話一二九番

年末年始の贈答には
アルミニウム食器を
丁目(電話五百六十番)

萬平瓦

福島縣平町
萬平瓦株式會社
電話三八

鐵道省御指定
福島縣平町

外務社員大募集

一、年齡廿歲以上四十五歲迄
一、個定給の外賞與多大支給す
希望者は履歷書持參平南中左記へ御來訪を乞ふ
平町仲町一四
仁壽生命保險株式會社
平監督所

長男榮一儀病氣の處養生不相叶去六日午後四時四十五分死去致候間此段御通知申上候也
追て葬儀は來る九日午後二時自宅出棺平町天理教會墓所に於て神式を以て執行可仕候
一月八日

父 藤田 榮七助
親戚 藤田 彦助
同 小齋 五郎
同 鈴木 熊治
同 山崎 清三郎
友人 總代 人

